

聖書
研究

「神の御顔を 仰ぎ見えて」

神の栄光 シャカイナグローリー

【今日のアウトライン】

- I. 神の栄光と救いの計画
- II. メシアの生涯と神の栄光
- III. 教会時代の神の栄光
- IV. 栄光への回復
- V. まとめと適用

主のみ顔を仰ぎ見て

主の栄光に目をとめよう





I. 神の栄光と救いの計画

～すべては十字架に向かって～

聖書のはじめ

創世記1:1～2

「初めに、神は天地を創造された。
地は茫漠として何もなかった。
やみが大水の上であり、
神の霊が
水の上を動いていた。」



最初の光

創世記1:1～2

神は仰せられた。『**光**があれ』すると**光**があった。

■この**光**は、
神の“**栄光の光**”
“**シャカイナグローリー**”

■世界の本質は、**神の栄光**
神の栄光として世界は造られた。



栄光に満たされた世界

神様が造られた世界を、
神の栄光が満たしていた。
人は、**神の栄光**と共にあった。



栄光が去る

しかし、人が、神の約束を破り、罪を犯した時、人は神と断絶し、**神の栄光**は、人から去った。



聖書最大のテーマは 「神の栄光」

天地創造

人類の墮罪

キリストの
十字架の
死と復活



世界の回復
(完全な神の国)

キリストの再臨

今の時代(教会時代)

救いの約束

神は、**メシア・救い主**を送ると約束された。

【原福音】 創世記3章15節

「お前と女、お前の子孫と女の子孫の
間に わたしは敵意を置く。
彼は お前の頭を砕き
お前は 彼のかかとを砕く。」

メシアは、**神の栄光**そのものとして来られ、
信じる者に、**神の栄光**を回復してくださる。



大洪水の後に

悪霊と交わり、断絶を深め
罪の極みに陥った人類を、
神は、大洪水によって裁いた。

神はノアを通して、二度と
洪水で世界を滅ぼさないと
一方的に約束され、
しるしとして、**虹**をかけた。

この**虹**も**神の栄光**の現れ。



深まる断絶

再び増え広がった人は、
またしても罪を重ねた。

神との断絶は深まるばかり。

それでも、神の救いの
計画は前進していく。



アブラハム

神は、アブラハムから、一つの民族を生み、その民族を通して、人類を救いへ導く。

創世記12章3節

「地上の氏族はすべて
あなたによって祝福に入る。」

アブラハム、二代目イサク、三代目ヤコブ。
ヤコブから12人の息子が生まれ、
イスラエル12部族の先祖となった。



深まる断絶

神は、一方的に、恵みの契約を結ばれた。

アブラハムとの正式な契約締結の時に、
切り裂かれた犠牲の動物の間を通ったのが、

「煙の立つかまど」と「燃えているたいまつ」
→神の栄光・シャカイナグローリー

※霊である神は、臨在される時に、
火、雲、煙、雷などを伴われる



出エジプト

イスラエル民族は、エジプトに逃れ、
奴隷として過ごした400年で、
一大民族に成長した。

イスラエルは、
神に導かれてエジプトから脱出し、
約束の地へ向かった。



雲の柱・炎の柱

イスラエルの出エジプト後、
昼は**雲の柱**、夜は**炎の柱**が、
民を導いた。

これも、

シャカイナグローリー

である。



律法と幕屋

神は、シナイ山において、かつてない規模で**栄光**を表され、イスラエルに律法を与えた。

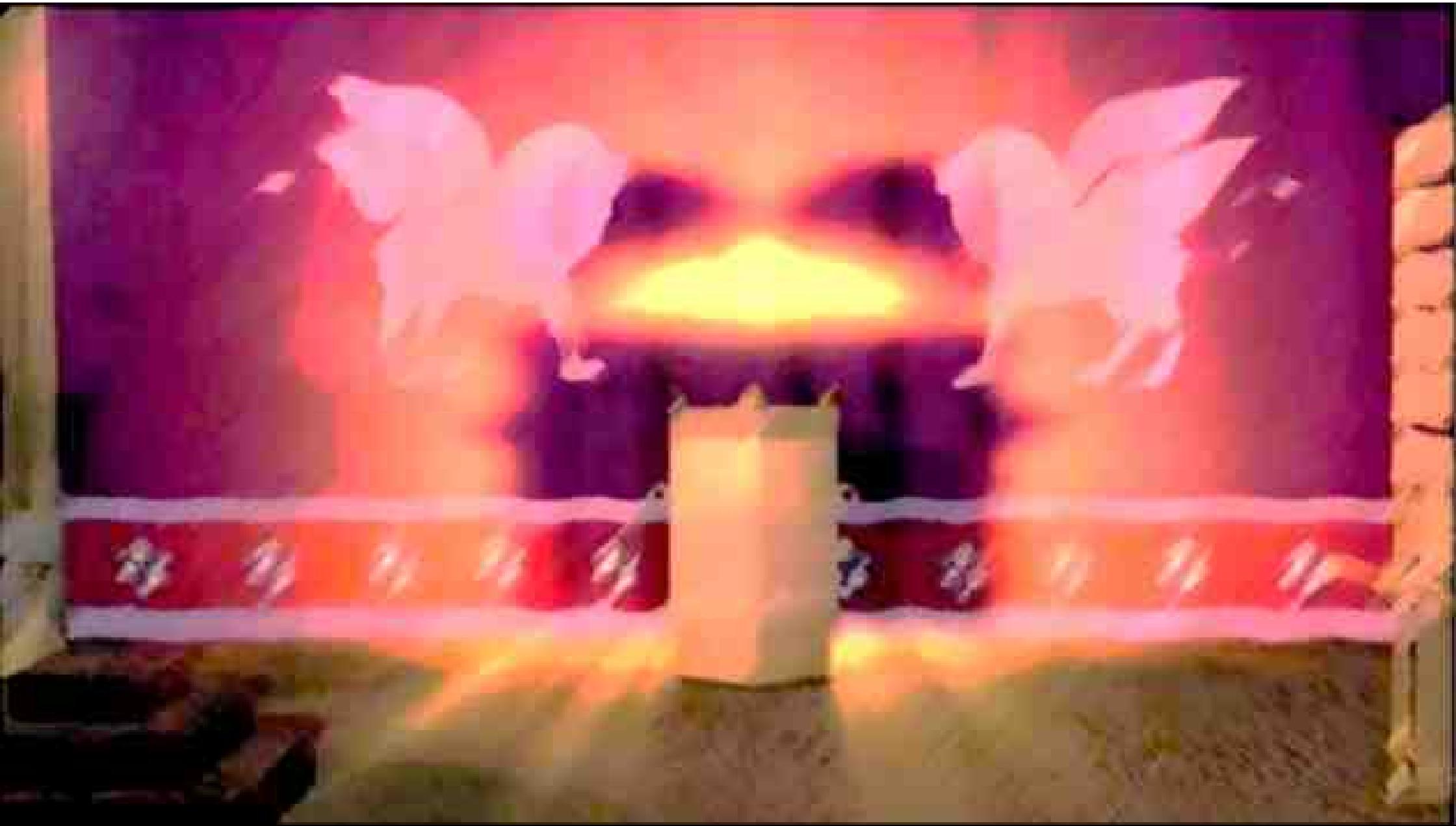
民は、神の命令に忠実に従い幕屋(テントの神殿)を建てた。

幕屋が完成したその時…。

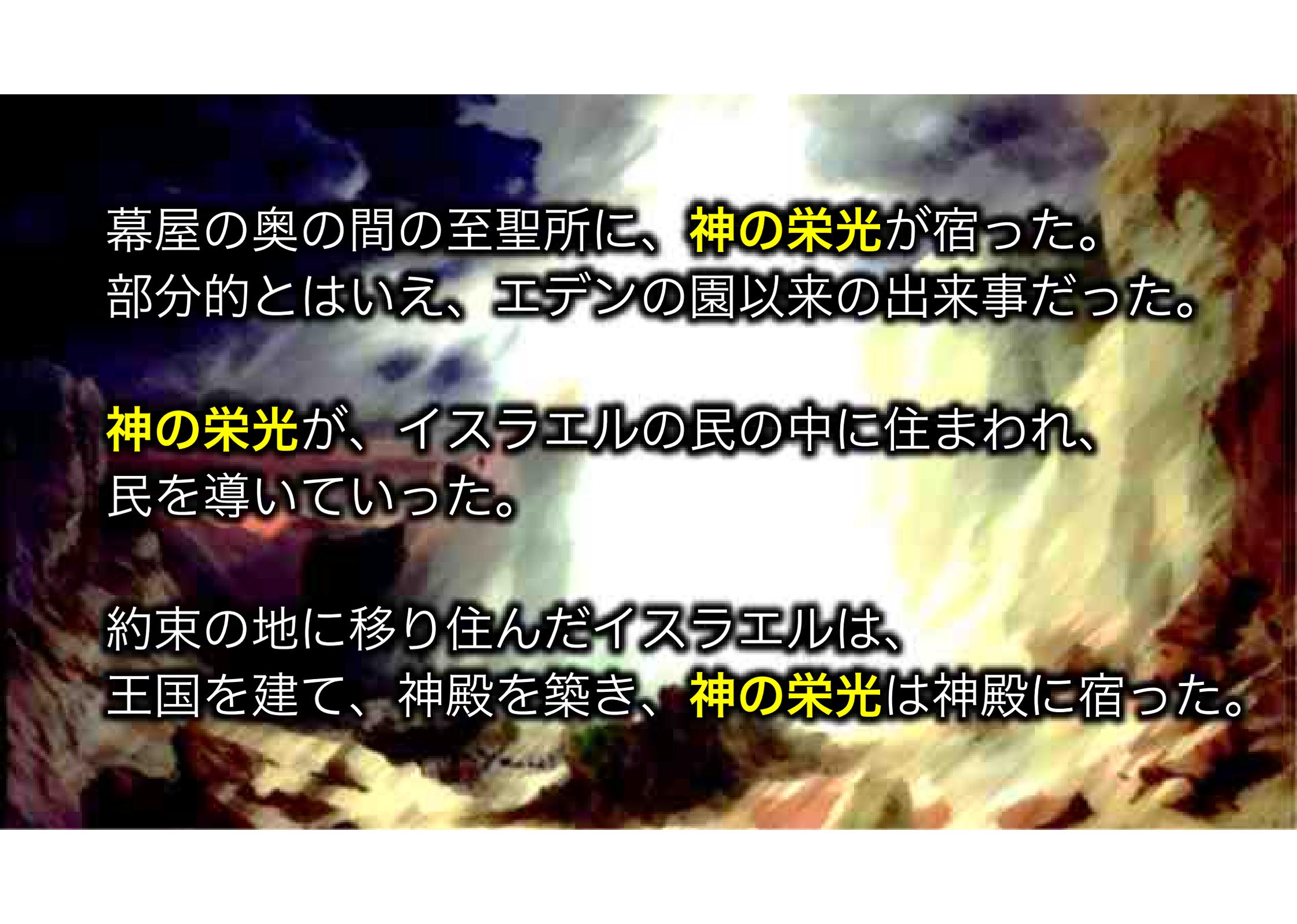












幕屋の奥の間の至聖所に、**神の栄光**が宿った。
部分的とはいえ、エデンの園以来の出来事だった。

神の栄光が、イスラエルの民の中に住まれ、
民を導いていった。

約束の地に移り住んだイスラエルは、
王国を建て、神殿を築き、**神の栄光**は神殿に宿った。

民の罪と裁き

しかし、イスラエルは、神に背き、偶像礼拝に陥った。
民の罪の末に、**神の栄光**は、神殿を去ってしまう。

ついに、エルサレムは、神殿もろともバビロニアに
滅ぼされた。人々は捕囚として連れて行かれた。

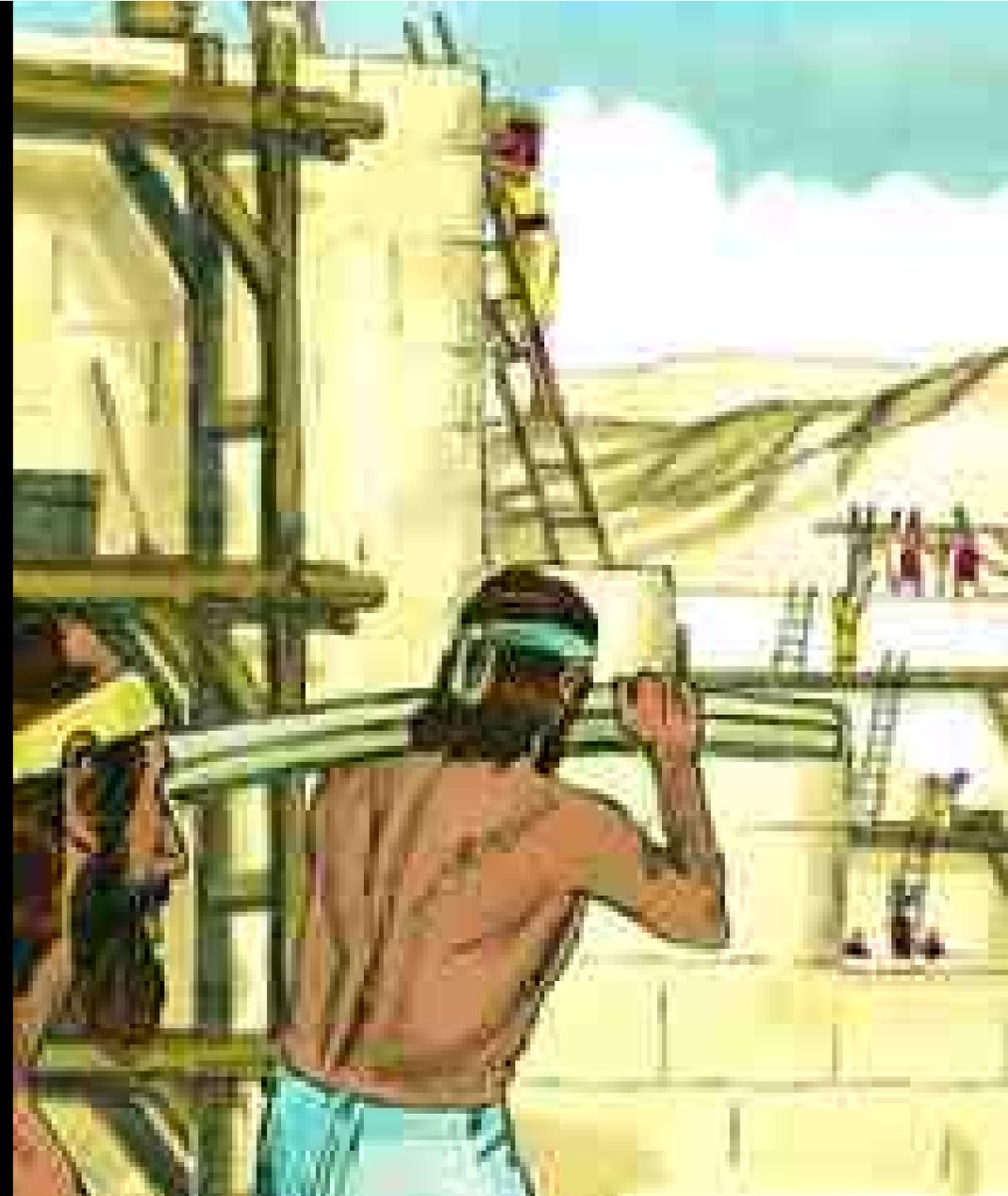


神殿の再建

70年後、イスラエルは捕囚から解放された。

人々は少しずつエルサレムに帰還し、神殿を再建した。

しかし、再建された神殿に、**神の栄光**はなかった。



メシア預言

苦しみの中でも、イスラエルに残っていた信仰者を通し、メシアのことが、少しずつ明らかにされていった。

メシアは、

…イスラエルのユダ族から生まれる。 創40:10

…ダビデ王の子孫から生まれる。 Ⅱサムエル7:12

…ベツレヘムで生まれる。 ミカ5:1

…処女から生まれる。 イザヤ7:14

メシアが、**神の栄光**を地上に回復される。



II. メシアの生涯と栄光

メシアの誕生

メシアは、預言された通り、ユダヤのベツレヘムで、処女マリアより生まれました。

この時現れた**星**は、**神の栄光**

羊飼いや、東方の博士たちも、**神の栄光**に導かれ、メシアを訪れ、礼拝した。



栄光を宿したメシア

イエスは、**神の栄光**を
その身に宿して誕生された。

ヨハネ福音書1:14

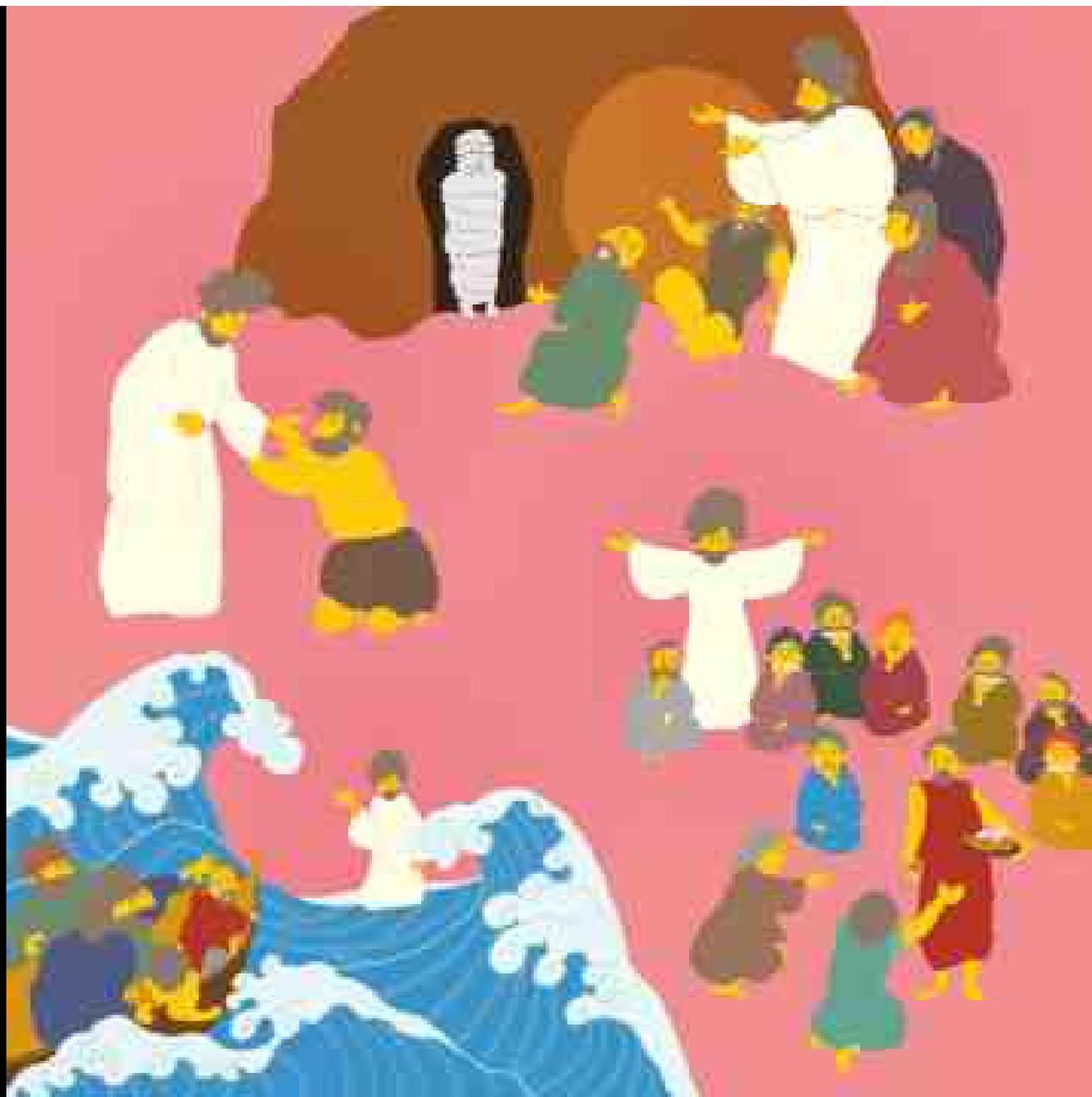
「ことばは人となって、私たちの
間に住まわれた。私たちはこの方の
栄光を見た。

父のみもとから来られたひとり子と
しての**栄光**である。この方は恵みと
まことに満ちておられた。」



メシアの活動

イエスは、
30歳から救い主として働き、
重い病気や障害を癒し、
数々の奇跡を行い、
聖書を正しく解き明かして、
ご自身がメシアである証拠を
人々に見せられた。



宮きよめ ヨハネ2:13~22

イエスは、エルサレムの神殿を訪れた時、腐敗した様子に、激しく怒った。

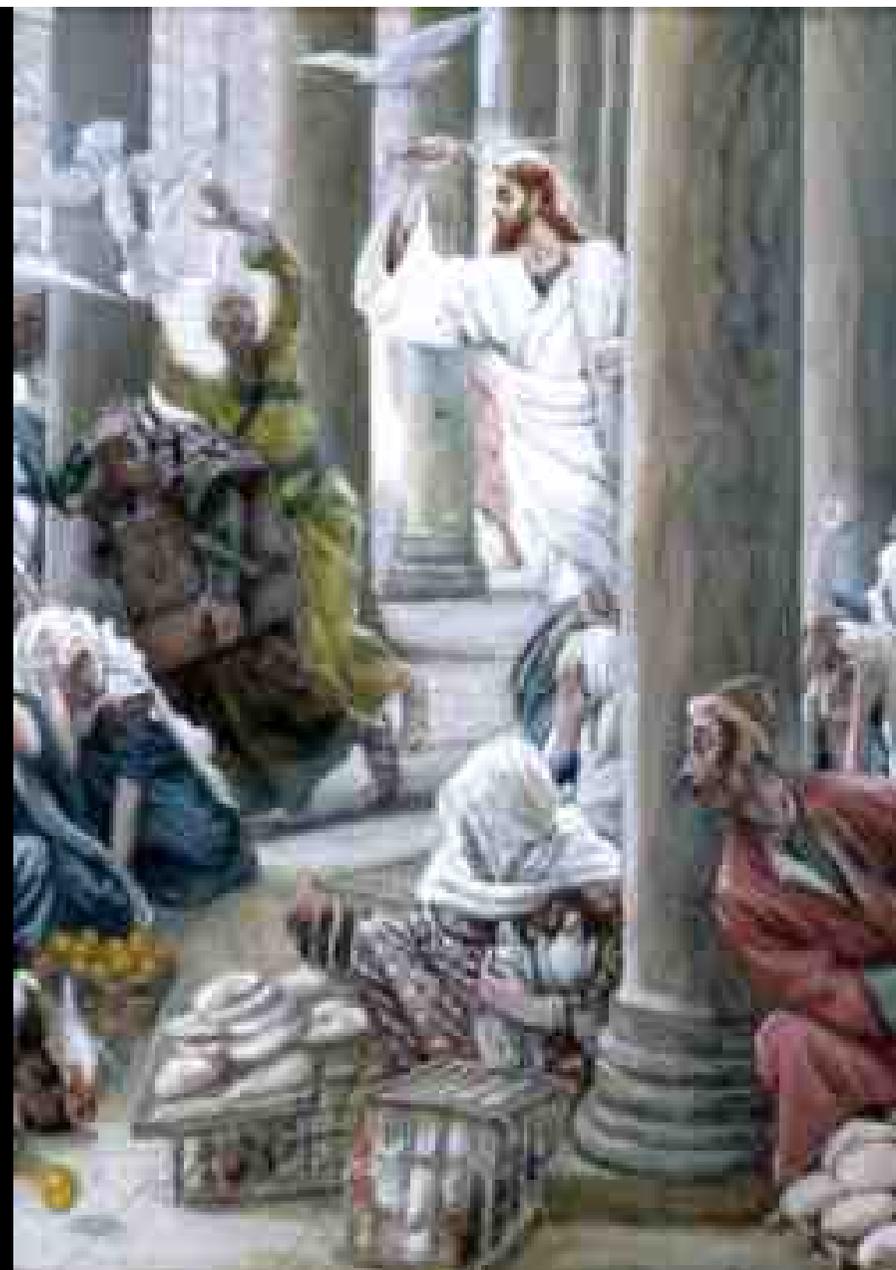
何の権威で、こんなことをするのかと問われ、イエスは答えた。

「この**神殿**をこわしてみなさい。

わたしは、三日でそれを建てよう。

ヨハネ2:19」

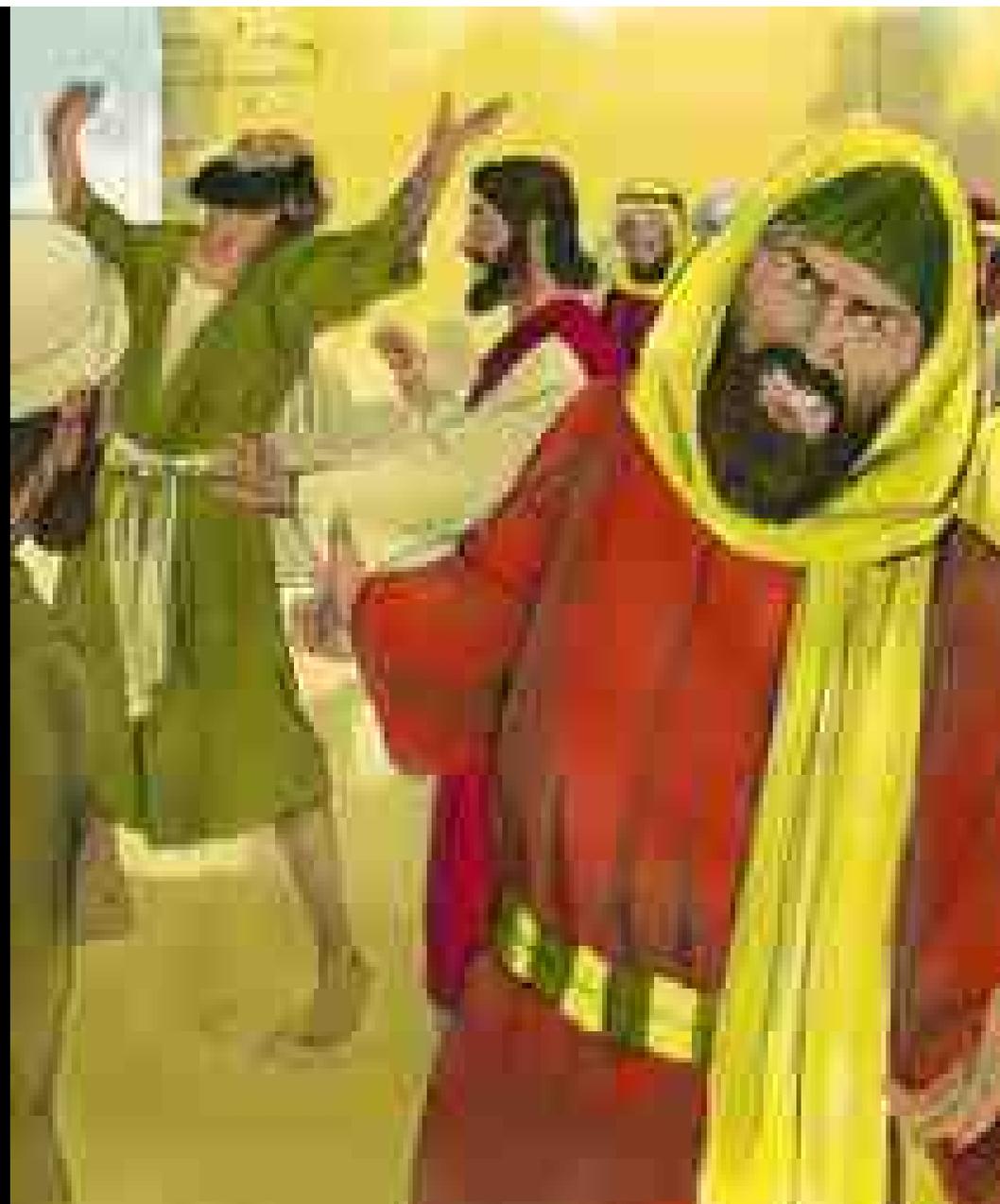
→イエスこそ、**神の栄光**を宿した神殿



イスラエルの拒絶

メシアであることの、数々の確かな証拠にも関わらず、イスラエルの宗教指導者は、イエスは悪霊の力で奇跡を行っていると言って拒んだ。

彼らはイエスを殺すことを決め、機会をうかがっていた。



栄光の顕現

マタイ17:2

「そして彼らの目の前で、御姿が変わり、御顔は**太陽のように輝き**、御衣は**光のように白くなった**。」

ヘルモン山にて、イエスは、地上生涯でただ一度、ご自身の**栄光**を表された。



最後の祈り

マタイ26:39

捕らえられる直前。イエスは、
命がけで最後の祈りをされた。

「父よ。みこころならば、
この杯をわたしから取りのけてください。
しかし、わたしの願いではなく、
みこころのとおりになしてください。」

→ **神の怒りの杯**を飲み干し、
神と完全に断絶される決意の表明。



メシアの捕縛

イエスは、弟子のユダの裏切りによって捕らえられた。

他の弟子たちは逃げ出した。



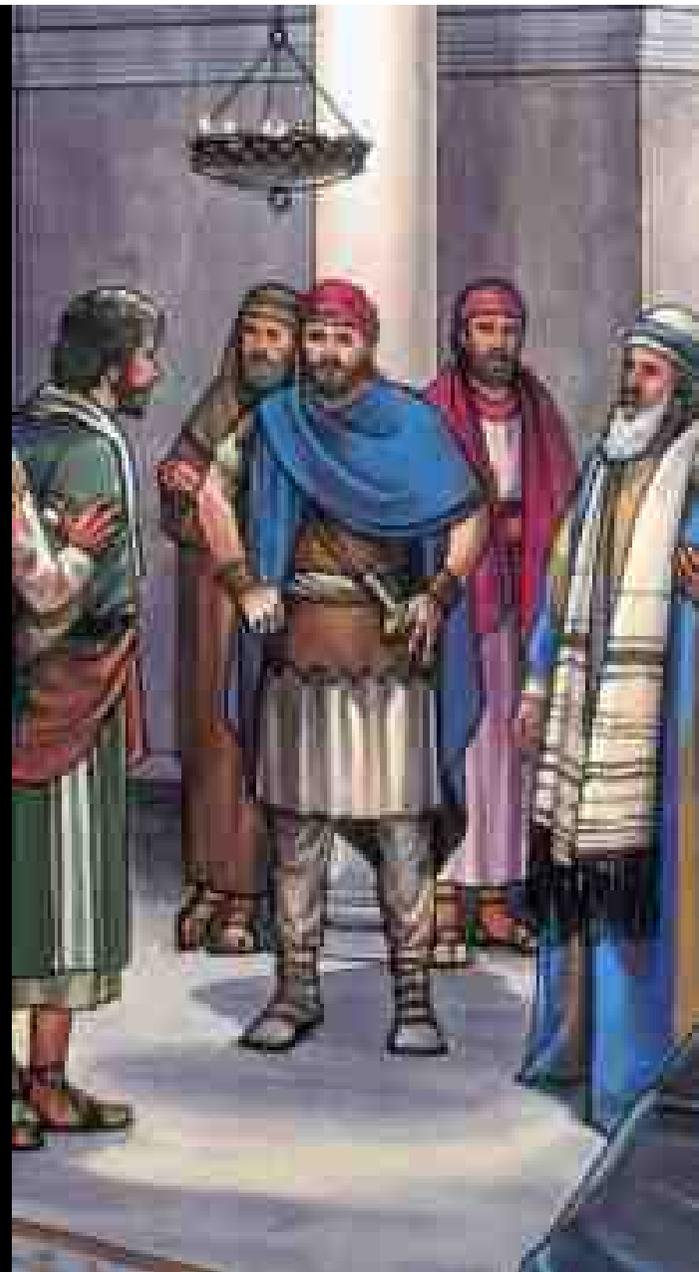
メシアの神性宣言 マタイ 26:64

■ユダヤ議会の裁判で主イエスは宣言された。

「なお、あなたがたに言うておきますが、今からのち、人の子が、力ある方の右の座に着き、**天の雲**に乗って来るのを、あなたがたは見ることにになります。」

→イエスの神性宣言。王の王の再臨予告。
再臨のイエスは、**天の雲**に乗り、つまり、**神の栄光**を帯びて、神として来られる!!

■イエスの言葉に、大祭司は激怒し、神に対する冒瀆だとして、死罪を求めた。



十字架刑の宣告

支配者ローマに、死刑執行の権利を剥奪されていたユダヤ議会は、イエスをローマ総督ピラトに引き渡した。

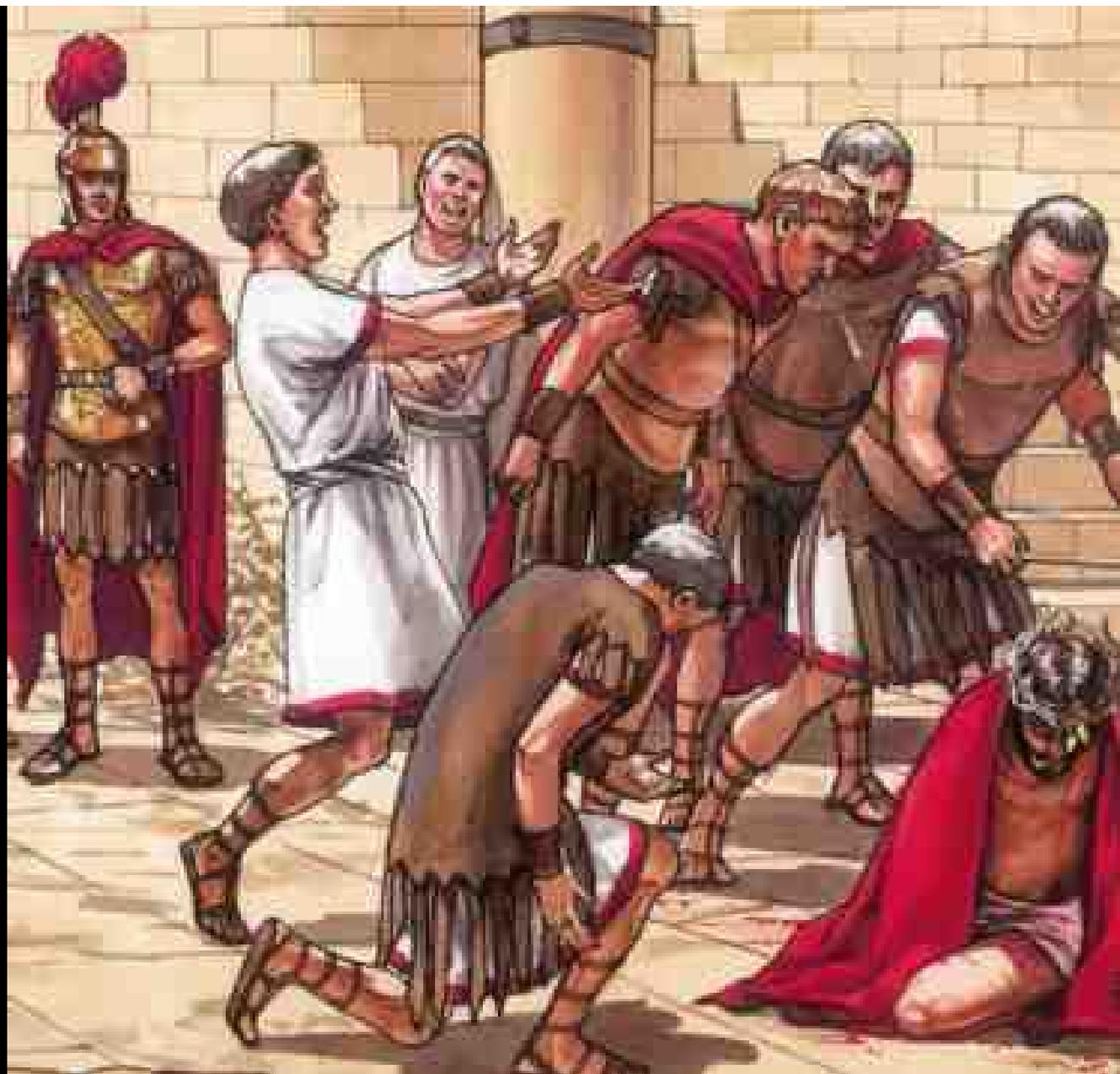
群集は、「十字架にかけろ!!」と叫び総督に圧力をかけ続けた。

保身をはかったピラトは、死刑にあたる罪がないにも関わらず、十字架刑を宣告した。



十字架への道

イエスはむち打たれ、
茨の冠をかぶせられ、
人々のあざけりの内に、
十字架へと
追い立てられた。



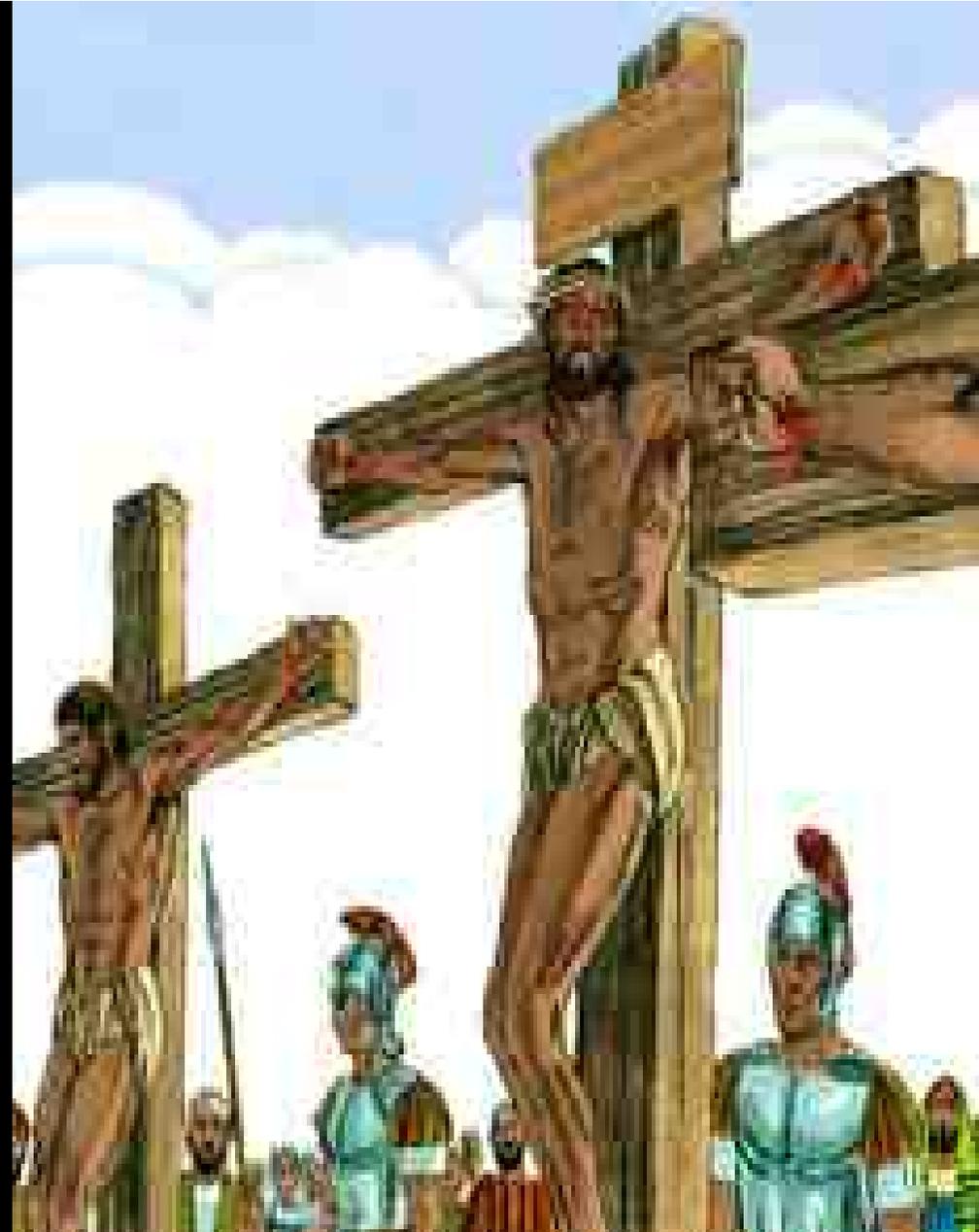
十字架の上で

骸骨を意味するゴルゴダで
イエスは十字架にかけられた。

午前9時。神殿ではこの時、
犠牲の子羊が献げられていた。

あざけりの中で、イエスは叫んだ。

「父よ。彼らをお赦してください。
彼らは、何をしているのか
自分でわからないのです。」



囚人の救い

隣で十字架につけられていた囚人は言った。

「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるときには、私を思い出してください。」

イエスは、彼に言われた。

「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」

- 囚人は、イエスを救い主と信じ、ただ、信仰と神の恵みによって救われた。
- 悔い改めは、罪人が**神の栄光**を表すことができる、最も重大なこと。

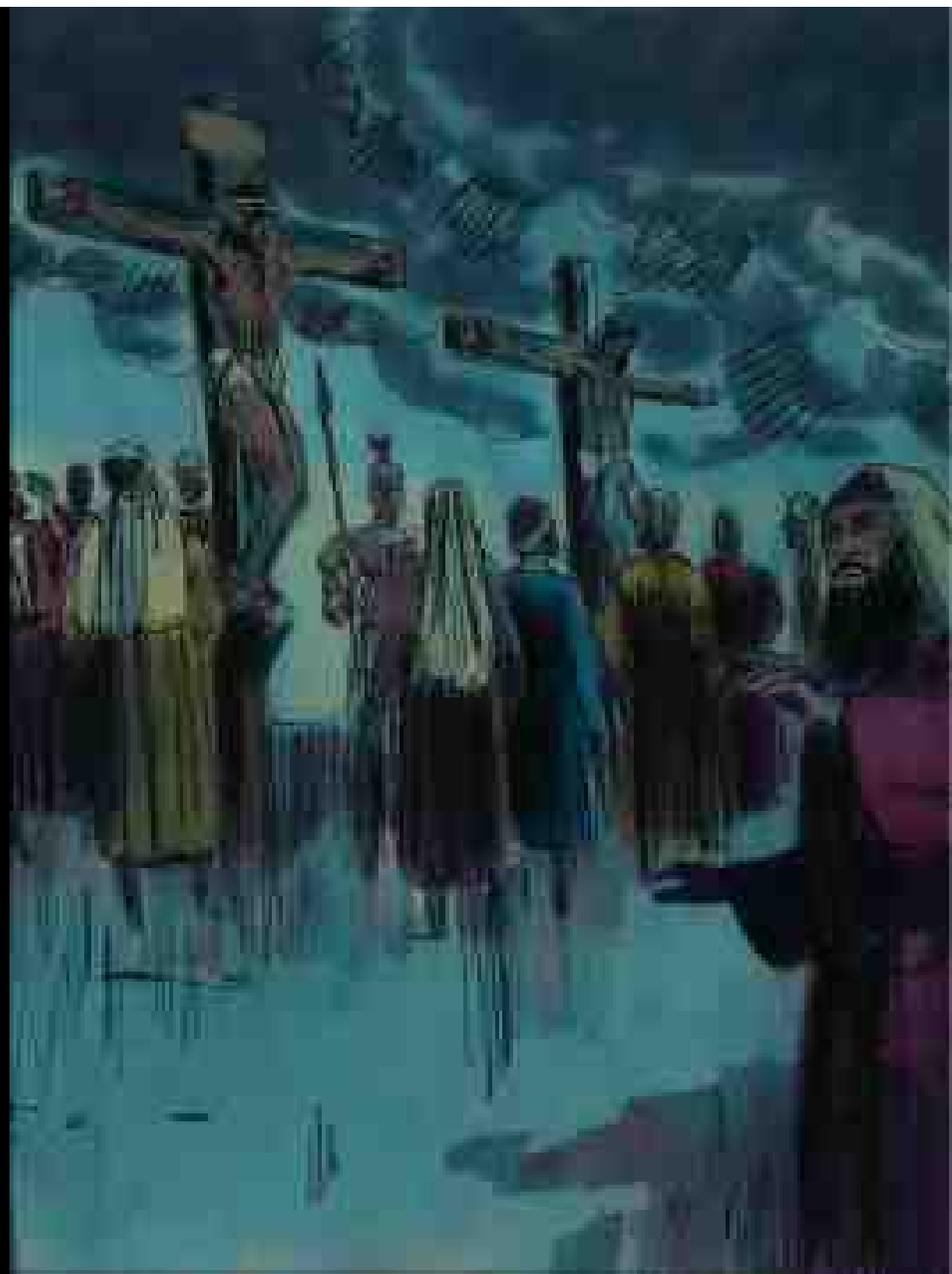


栄光の喪失

正午から3時まで、地を**暗黒**が覆った。
この時、イエスは神と**断絶**され、
その身に神の怒りが注がれていた。

イエスは、**神の栄光**を完全に失った。

暗闇は、イスラエルの民が、光である
イエスを拒んだことをも表していた。



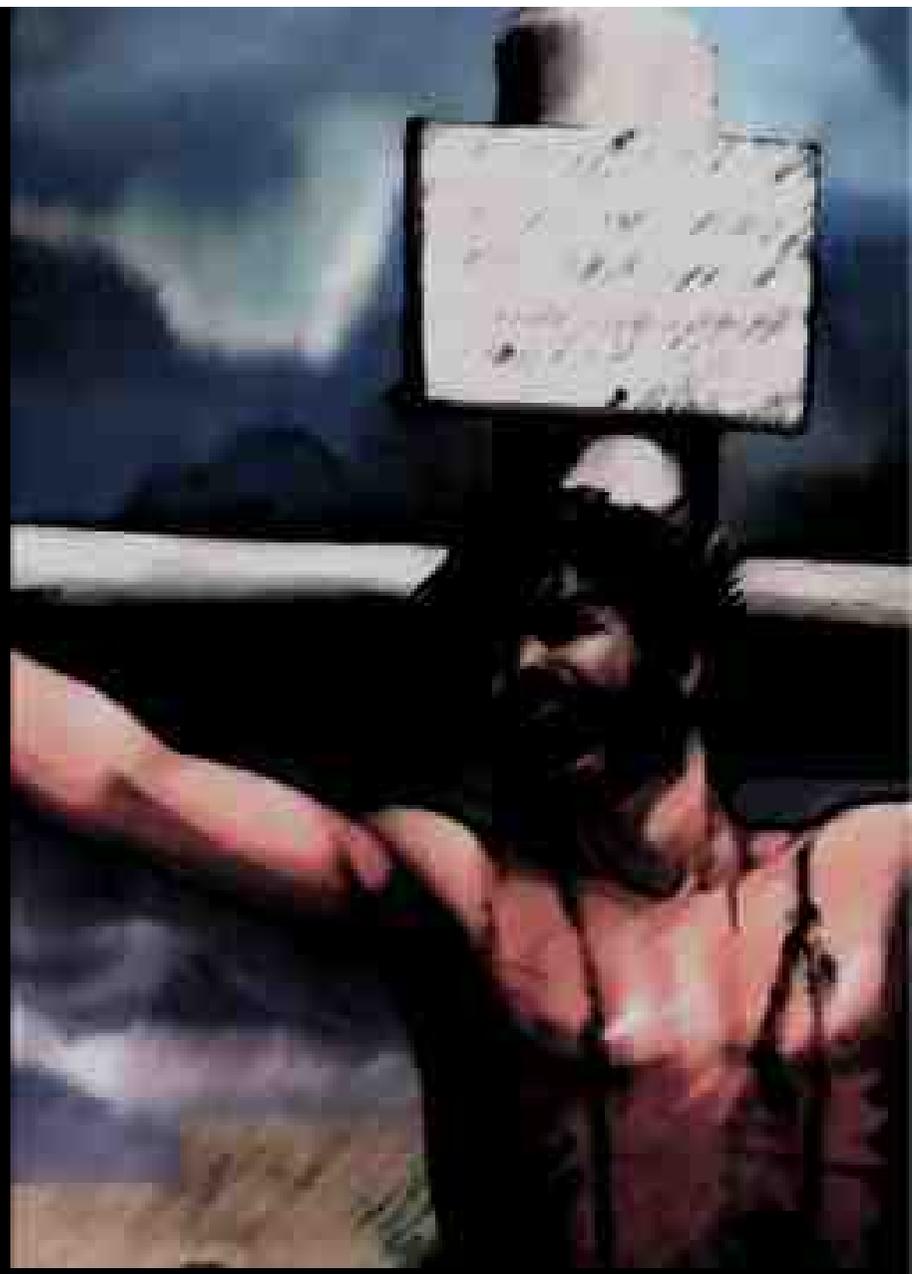
完全な断絶

午後3時ごろ、イエスは、叫ばれた。

「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか」

イエスは、**神の怒りの杯**を飲み干され、神を父と呼ぶ親密な関係は断絶された。

イエスは、神に完全に見捨てられた。



贖いの完遂

イエスは、渴きを訴え、酸いぶどう酒を飲まれ、「完了した」と言われた。

■ 人類の罪の負債は、完全に支払われた。

最後、イエスは、大声で叫ばれた。

「父よ。わが霊を御手にゆだねます。」

■ イエスと父なる神との関係は回復され、イエスは、自ら命を神に引き渡された。



破られた隔て

神殿の奥の至聖所を隔てる幕が、上から下に、引き裂かれた。

イエスの十字架の死によって、アダムの子罪以来、神と人とを隔てていた壁が打ち砕かれた。

神の栄光を妨げるものはない。今や、誰もが、キリストによって、神に近づくことができる。

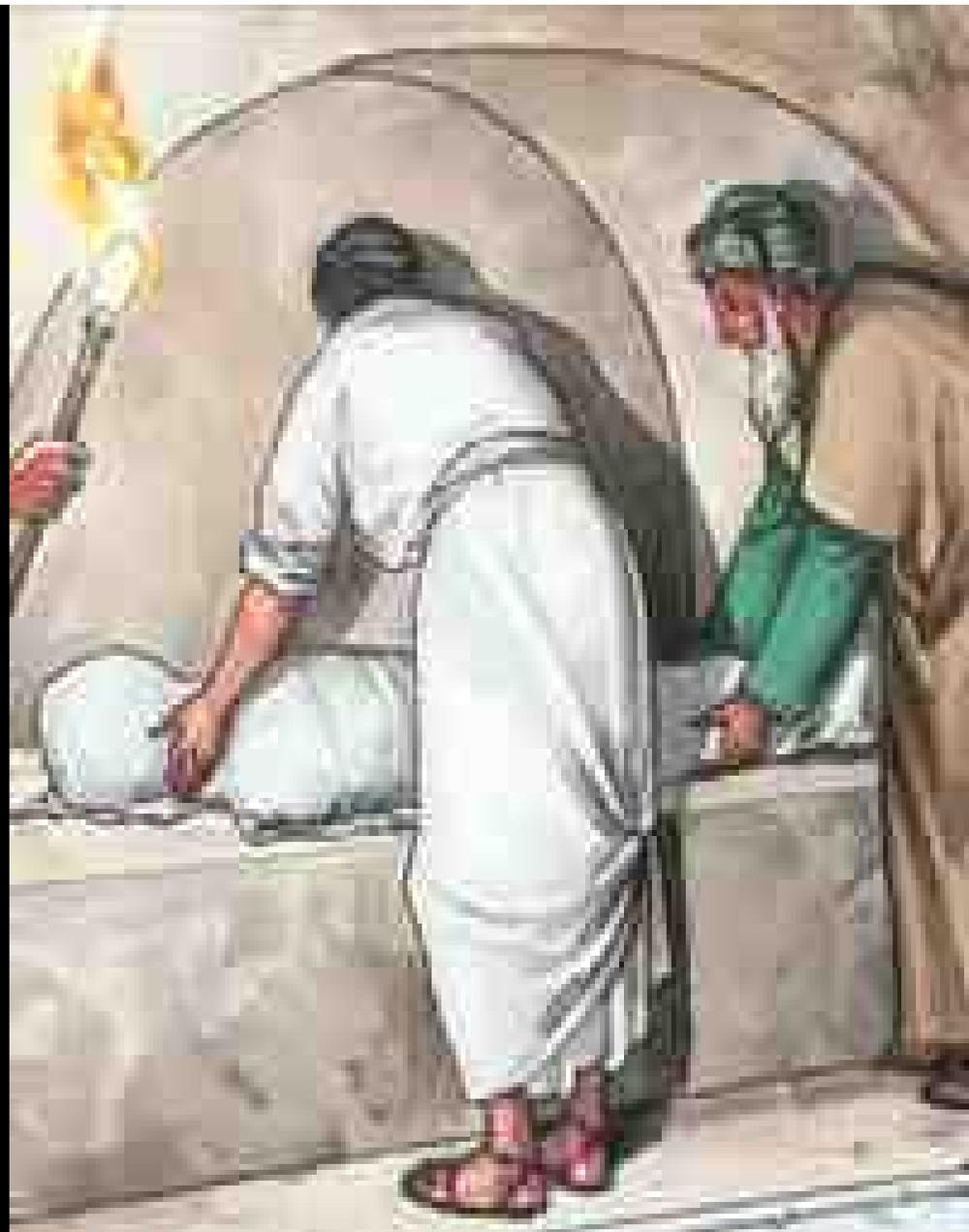


葬り

イエスは、罪人の私たちと変わることなく、死んで葬られた。

葬りは、
メシアが受けた**辱めの極地**。

イエスの十字架、葬り、すべてが、旧約聖書に預言された通りだった。



空っぽの墓

三日目の朝、女たちが訪れた墓は開いていた。

御使いが現れ、恐れる女たちに言った。

「あの方は、ここにはおられません。
復活されたのです」

墓の中は、空っぽで、イエスを巻いていた布だけが、残されていた。



十字架への道

女たちの前に、一人の人が現れ、
「シャローム(平安あれ)」と、
呼びかけられた。

栄光の体で**復活**したイエスだった。

「恐れてはいけません。
行って、わたしの兄弟たちに、
ガリラヤに行くように言いなさい。
そこでわたしに会えるのです。」



和解の食卓

この後、
栄光の復活のイエスは、
弟子たちに現れ、
さらに、ガリラヤで会われた。

一度は、イエスを見捨て、逃げ出した弟子たちは、イエスに招かれ、
和解の食事を共にした。





III. 教会時代の神の栄光

メシアの昇天

復活した栄光のイエスは、
40日間、最後の教えを
弟子たち伝えられ、
天に昇っていかれた。



昇天前の主イエスの最後の命令

使徒1章8節

「しかし、**聖霊**があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。

そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地のはてにまで、わたしの証人となります。」



聖霊降臨

十日後、ペンテコステの祭りの日、
祈っていた弟子たちに**聖霊**が降った。

弟子たちは、知らないはずの外国の
言葉を話し始め、世界中から集って
いた巡礼者たちは、驚いた。

この時現れた、「激しい風が吹くよ
うな音」、「炎のような舌」も、
神の栄光、シャカイナグローリー!!



教会の誕生

弟子たちに力がみなぎり、ペテロが立ち上がって語り始めた。

「あなたがたが十字架で殺したイエスが、メシアなのです。」

聖霊が語らせたのだ。

この日、3千人が主イエスを信じ、教会が誕生した。



迫害の中でも

イエスの弟子が増えるにつれ、
激しい迫害が起こったが、
福音は広がり、多くの異邦人も救われていった。



福音宣教の時代に

「イエス・キリストは、わたしたちの罪のために、十字架で死んで、葬られ復活された。」

この**福音**を信じた者は、永遠に栄光の神と共にいる。

教会時代の続く限り、**福音**は、全世界で宣言されていく。



栄光は今？

教会は、キリストの体。
福音を信じた一人一人が、
神の宮とされている。

信者の内に、**聖霊**が住まわれ、
育まれる。信者は、霊とまこと
をもって、礼拝を献げる。

神の栄光は、神の宮である信じた者の内にある





IV. 栄光の回復に向かう世界

★終末MAP★

【パラダイス】

【天上の礼拝】

【新天新地】

【千年王国】

【ゲヘナ(地獄)】

【シエオール(陰府)】

【教会時代】

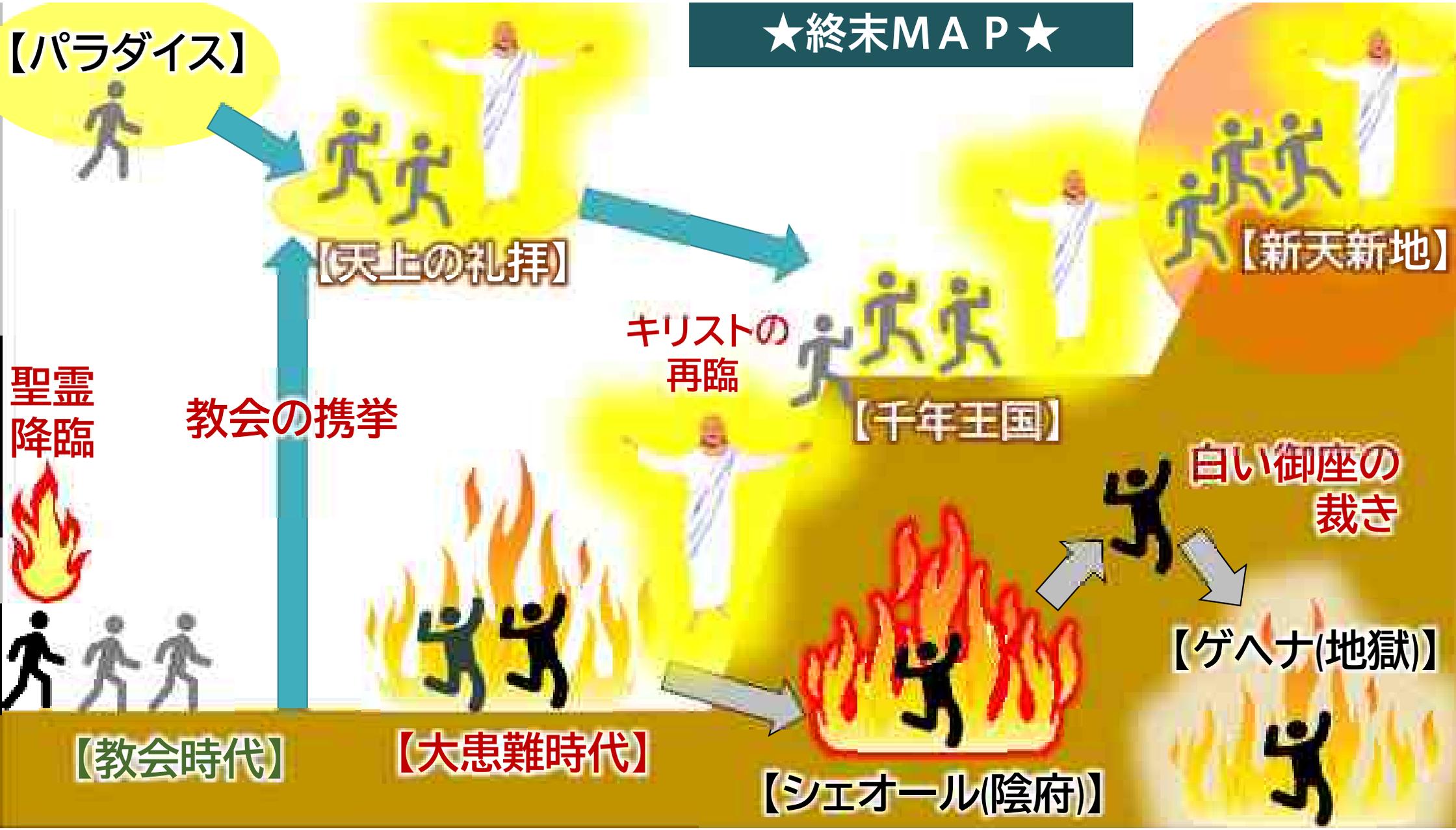
【大患難時代】

キリストの再臨

教会の携挙

白い御座の裁き

聖霊降臨

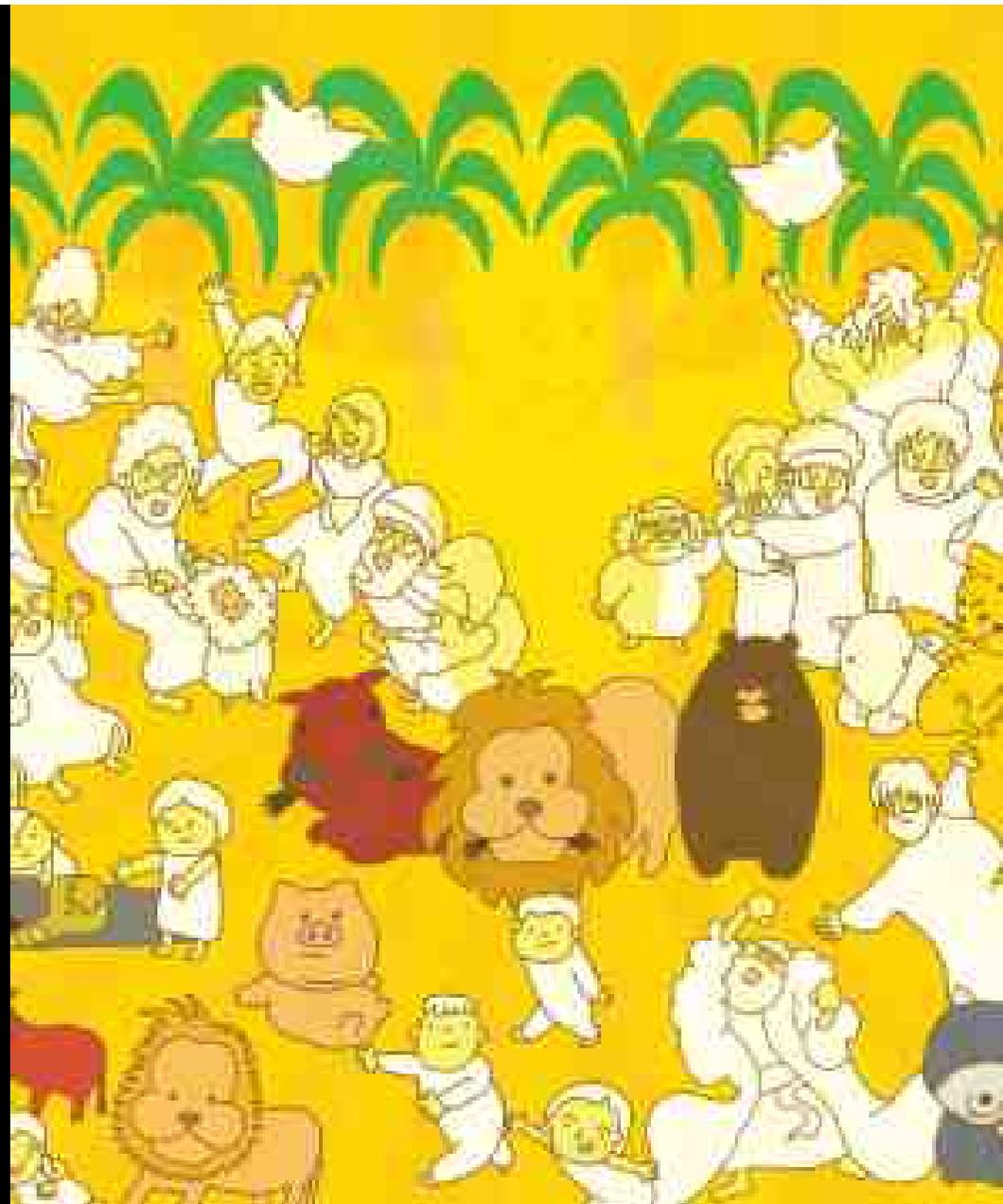


栄光に満ち満ちた世界

新天新地における、
天のエルサレムに神殿はない。
父とイエス御自身が神殿だから。

新天新地には、月も太陽もない。
父と主イエスの**栄光**が照らす。

神の栄光が、
すべての人を満たし
世界に満ちあふれる。



黙示録 21:23～24

「都には、これを照らす太陽も月もいない。
というのは、**神の栄光**が都を照らし、
小羊が都のあかりだからである。
諸国の民が、**都の光**によって歩み、
地の王たちはその**栄光**を携えて都に来る。」

天地創造

創世記1章1節

地の再創造(ヒルナン)

創世記1章3〜2章3節

天使の
墮落

最初のアダム
人の墮落

キリストの十字架

最後のアダム
キリストの
再臨

キリストによる
最後の裁き

教会時代

千年王国(ヒルナンの回復)

黙示録20章

新天新地

黙示録21〜22章



V. まとめと適用 主のみ顔を仰ぎ見て

コリント人への手紙第二 3:16~18

しかし、人が主に向くなら、
そのおおいを取り除かれるのです。

主は御霊です。そして、主の御霊のあるところには
自由があります。

私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、
鏡のように**主の栄光**を反映させながら、**栄光**から**栄光**へと、
主と同じかたちに姿を変えられて行きます。

これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。

栄光の主のみ顔を仰ぎ見よう

■人は自分自身に病んでいる。

自分ばかりを見つめていれば、行き詰まっていくばかりだ。

■聖書の求める原則は、「**ただ主を仰ぎ見よ**」という、それだけのこと。

① 罪の赦しを求め、十字架の主イエスを仰ぎ見る。

② 信じて救われた喜びをもって、栄光の主イエスを仰ぎ見続ける。

③ 試練につまずき倒れた時も、やはり栄光の主イエスを仰ぎ見る。

■聖霊が最も強く働かれるのは、聖書にかじりつくときだ。

御言葉を慕い求め、主を見上げる、歩みの過程で変えられていく。

「主のみ顔を仰ぎ見れば、覆いは取り去られる」

「神の栄光」の回復こそが、すべての土台



個人の救い

人類の救い

世界の回復

栄光の回復

てん とう
「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、^{そむ} 罪を^{つみ}重ねてきました。
ひび おか つみ こくはく つみ
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ} 神のみ子^こイエス・キリストが、
^{つみ} ^{あがな} ^{じゅうじか} ^し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

^{はか} ^{ほうむ}

②墓に葬られ、

^{みつかめ} ^{ふっかつ}

③三日目に復活した^{しん}こと、を信じます。

^{しれん} 試練につまずき^{たお}倒れる^{とき}時には、ただ^{しゅ}主のみ顔^{かお}を^{あお}仰ぎ^み見ます。

^{しゅ} ^{みことば} ^{した} ^{もと} ^{しゅ} ^{わたし} ^か
ひたすら、主の御言葉を慕い求めます。主が私を変えてくださいます。

^{わたし} ^{せかい} ^{しゅ} ^{えいこう} ^み ^{やくそく} ^{とき} ^ま ^{のぞ}
私も世界も、すべてが主の栄光で満たされる、約束の時を待ち望みます。

^{しゅ} ^き ^{とき} ^{わたし} ^{もち} ^{つか}
マラナタ。主よ来てください。その時まで私を用い、遣わしてください。

^{しゅ} ^な ^{いの}
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」